

本専門部では、茨城県教育庁学校教育部保健体育課・全日本剣道連盟・全国高体連剣道専門部・茨城県剣道連盟発出のガイドラインをもとに、専門部としてのガイドラインを以下のとおり定め、本大会を開催します。

【専門部での感染対策】

- 1 参加同意書・健康チェックシート・大会参加者名簿の提出を求める。
- 2 **男子個人・男子団体の日は男子剣道部員のみ入館、女子個人・女子団体の日は女子剣道部員のみ入館とする。(大会補助員については、この限りではない)**
- 3 **本大会の観戦においては、個人・団体ともに、出場選手1名につき保護者1名までの観戦を可とし、健康チェックシートと大会参加者名簿の提出を求める。**
※今後の感染状況次第では入場・観戦の制限を変更する場合があります。
- 3 こまめな換気と手指消毒の遵守。
- 4 開閉会式を簡略化し、ソーシャルディスタンスを確保し整列させる。
- 5 選手は面マスク・マウスガードの着用を義務化し、その他のシールド着用は推奨する。
(面マスクの着用については、鼻まで覆うこととする。)
- 6 役員・審判員・補助員も競技中の不織布マスクの着用を必須とする。
- 7 面マスク着用での試合の為、熱中症等のリスクを考慮し選手をよく観察する。
- 8 竹刀検量を実施する。ただし、感染状況次第では実施しないこともあるため、竹刀点検は各校で行い、(公財)全日本剣道連盟剣道試合規則・審判細則で定める基準を満たすものを準備・使用すること。
- 9 各会場におけるいばらきアマビエちゃんへの登録を推奨する。
- 10 男女個人戦時は、選手1人につき、1名の付き添い(試合会場への入場)を認めるが、付き添いの練習は原則不可とする。

【選手自身が行う感染対策】

- 1 参加同意書・大会参加者名簿・健康チェックシートの提出。
- 2 手指消毒の徹底。
- 3 面マスク・マウスガードの着用義務化。
(面マスクの着用については、鼻まで覆うこととする。)
- 4 不織布マスクを着用する。ただし、面着用時は他のマスクの着用を認める。
- 5 発熱や風邪症状等の体調不良者は参加しない。
- 6 応援は拍手のみで行い、ソーシャルディスタンスを意識する。
- 7 飲食する際は手洗い・うがいを徹底し、対面での食事は避ける。
- 8 ごみの持ち帰りの徹底。
- 9 いばらきアマビエちゃんへの登録。